



平成28年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年8月12日

上場会社名 株式会社セルシード 上場取引所 東
 コード番号 7776 URL http://www.cellseed.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋本 せつ子
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部門長 (氏名) 山崎 浩 TEL 03-6380-7490
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月15日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第2四半期の連結業績（平成28年1月1日～平成28年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第2四半期	28	△5.1	△450	—	△449	—	△447	—
27年12月期第2四半期	29	△13.5	△329	—	△297	—	△297	—

(注) 包括利益 28年12月期第2四半期 △523百万円 (—%) 27年12月期第2四半期 △327百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第2四半期	△49.53	—
27年12月期第2四半期	△34.35	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年12月期第2四半期	2,224	2,102	93.9	226.74
27年12月期	2,489	2,389	95.5	267.73

(参考) 自己資本 28年12月期第2四半期 2,089百万円 27年12月期 2,378百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年12月期	—	0.00	—	—	—
28年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年12月期の連結業績予想（平成28年1月1日～平成28年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100	△48.2	△1,200	—	△1,150	—	△1,150	—	△129.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年12月期2Q	9,214,419株	27年12月期	8,884,419株
② 期末自己株式数	28年12月期2Q	127株	27年12月期	127株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年12月期2Q	9,039,786株	27年12月期2Q	8,674,292株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当事業年度におけるわが国経済は、政府や日本銀行による経済・金融政策を背景に、企業収益や雇用・所得環境の改善等が見られ、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、中国をはじめとする新興国経済の減速や原油価格、金融市場の混乱等から、依然として先行きに対する不透明感を払拭できない状況となっております。

当社グループを取り巻く先端医療・再生医療分野におきましては、厚生労働省の研究班によりiPS細胞から作った神経細胞などを臨床研究のため患者に投与する際の安全性の評価基準が策定されました。また、5月にはテルモ株式会社が世界初の心不全治療用の再生医療製品「ハートシート」を発売するなど、細胞シートを用いた再生医療製品についても大きな動きが見られました。

以上のような環境の下、当社グループは再生医療支援事業及び細胞シート再生医療事業における活動を推進いたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は28,090千円(前年同四半期比1,499千円の減少)、営業損失は450,618千円(前年同四半期比121,465千円の増加)、経常損失は449,594千円(前年同四半期比152,345千円の増加)、親会社株主に帰属する四半期純損失は447,761千円(前年同四半期比149,822千円の増加)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

① 再生医療支援事業

再生医療支援事業では、温度応答性細胞培養器材に関する研究開発活動に取り組みました。また販売面では、販売促進活動に取り組みつつ、引き続き新規導入商材の開発に向けた探索・選定活動を推進いたしました。

以上のような活動の結果、売上高は28,090千円(前年同四半期比1,499千円の減少)、営業損失は46,746千円(前年同四半期比18,360千円の増加)となりました。

② 細胞シート再生医療事業

細胞シート再生医療事業では、食道再生上皮シート及び軟骨再生シートの細胞シート再生医療製品パイプラインの自社開発を中心とした研究開発を推進しております。

平成28年4月に、国立研究開発法人 日本医療研究開発機構が公募した平成28年度「再生医療の産業化に向けた評価基盤技術開発事業(再生医療等の産業化に向けた評価手法の開発)」に、東京女子医科大学先端生命医科学研究所(金井信雄 特任講師)を研究代表者とし、当社は分担機関として参画する研究開発項目が採択を受けました。

また6月には、米国での角膜再生上皮シートの事業化に関連する当社所有特許について、当該特許の共同出願人と連名で、Emmaus Medical Inc.(以下「エマウスメディカル社」という)に対して特許実施許諾契約を締結することを決定いたしました。今後の米国での角膜再生上皮シート開発はエマウスメディカル社が推進していく予定であり、またエマウスメディカル社が米国で角膜再生上皮シートに係る売上高を計上した際には、当社はロイヤルティ収入を受領する予定です。

以上のような活動の結果、営業損失は250,278千円(前年同四半期比85,972千円の増加)となりました。

(当該事業は現在事業化準備段階にありますので、売上高計上には至っておりません。)

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて493,102千円減少し、1,690,285千円となりました。これは主に、現金及び預金が454,543千円減少したことによります。

当第2四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べて228,034千円増加し、534,185千円となりました。これは、主に建設仮勘定が203,538千円増加したことによります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて265,067千円減少し、2,224,470千円となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて21,697千円増加し、121,508千円となりました。これは主に、前受金が24,518千円増加したことによります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて21,697千円増加し、121,508千円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて286,765千円減少し、2,102,962千円となりました。これは主に、新株予約権の行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ116,853千円増加する一方、親会社株主に帰属する四半期純損失447,761千円を計上したことなどによります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の残高は、前第2四半期連結会計期間末に比べて974,469千円減少し1,613,063千円となりました。当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動に使用した資金は381,432千円(前年同四半期比63,229千円の支出増)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失449,594千円を計上したことなどによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果支出した資金は232,210千円(前年同四半期は17,272千円の収入)となりました。これは、有形固定資産の取得による支出232,835千円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果獲得した資金は、232,650千円となりました(前年同四半期は750千円の支出)。これは、新株予約権の行使による新株発行の収入232,650千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成27年2月16日発表の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第2四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、当社新株予約権の行使による資金調達の実施等により、前連結会計年度末の手元資金(現金及び預金)残高は2,067,607千円となり、財務基盤については一定水準を保持して推移しております。一方で事業面におきましては細胞シート再生医療事業の重要課題である細胞シート再生医療第1号製品の早期事業化の道程を示すまでには至っておりません。以上のことから、当社グループは当四半期連結会計期間において、引き続き継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在していると判断しております。

当社グループは当該状況の解消を図るべく、引き続き以下の施策に取り組んでおります。

当社細胞シート再生医療第1号製品の早期事業化の実現と器材事業の拡充による収益機会の獲得

当社グループは、今後、当社が優先的自社開発パイプラインとして設定した食道上皮再生シート並びに軟骨再生シートの開発を推進し、当社細胞シート再生医療第1号製品の早期事業化を実現すること、またその関連周辺機器の開発を拡充し、更なる収益機会を獲得していくことで当該状況の解消を図って参ります。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,067,607	1,613,063
売掛金	26,768	13,441
商品及び製品	12,962	15,591
貯蔵品	9,041	7,750
前払費用	10,931	12,203
その他	56,076	28,235
流動資産合計	2,183,387	1,690,285
固定資産		
有形固定資産		
建設仮勘定	215,100	418,638
その他(純額)	30,480	55,781
有形固定資産合計	245,580	474,419
投資その他の資産	60,570	59,766
固定資産合計	306,150	534,185
資産合計	2,489,538	2,224,470
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,308	5,216
未払金	63,521	57,562
未払法人税等	950	5,324
前受金	9,999	34,518
その他	19,031	18,886
流動負債合計	99,811	121,508
負債合計	99,811	121,508
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,852,583	2,969,436
資本剰余金	74,380	191,233
利益剰余金	△584,247	△1,032,022
自己株式	△201	△201
株主資本合計	2,342,514	2,128,445
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	36,115	△39,161
その他の包括利益累計額合計	36,115	△39,161
新株予約権	11,097	13,679
純資産合計	2,389,727	2,102,962
負債純資産合計	2,489,538	2,224,470

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
売上高	29,589	28,090
売上原価	14,243	12,177
売上総利益	15,346	15,913
販売費及び一般管理費		
研究開発費	134,646	234,419
その他	209,852	232,112
販売費及び一般管理費合計	344,499	466,532
営業損失(△)	△329,152	△450,618
営業外収益		
受取利息	251	191
保険返戻金	—	1,352
補助金収入	35,054	—
その他	395	1,095
営業外収益合計	35,700	2,639
営業外費用		
為替差損	3,046	129
株式交付費	—	1,486
支払手数料	750	—
営業外費用合計	3,796	1,615
経常損失(△)	△297,249	△449,594
税金等調整前四半期純損失(△)	△297,249	△449,594
法人税、住民税及び事業税	689	735
法人税等調整額	—	△2,567
法人税等合計	689	△1,832
四半期純損失(△)	△297,939	△447,761
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△297,939	△447,761

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
四半期純損失(△)	△297,939	△447,761
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△29,955	△75,276
その他の包括利益合計	△29,955	△75,276
四半期包括利益	△327,894	△523,038
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△327,894	△523,038
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△297,249	△449,594
減価償却費	355	4,175
受取利息	△251	△191
為替差損益(△は益)	683	17
補助金収入	△35,054	—
支払手数料	750	—
株式報酬費用	—	3,637
売上債権の増減額(△は増加)	4,001	13,326
たな卸資産の増減額(△は増加)	4,779	△1,382
その他の流動資産の増減額(△は増加)	7,502	23,980
仕入債務の増減額(△は減少)	6,144	△1,091
未払金の増減額(△は減少)	△8,940	△5,132
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△14,598	7,349
小計	△331,876	△404,906
利息の受取額	200	165
補助金の受取額	14,810	24,518
法人税等の支払額	△1,338	△1,210
営業活動によるキャッシュ・フロー	△318,203	△381,432
投資活動によるキャッシュ・フロー		
敷金の回収による収入	7,553	625
有形固定資産の取得による支出	—	△232,835
有形固定資産の売却による収入	9,719	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	17,272	△232,210
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	232,650
新株予約権の発行による支出	△750	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△750	232,650
現金及び現金同等物に係る換算差額	△32,249	△73,550
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△333,929	△454,543
現金及び現金同等物の期首残高	2,921,463	2,067,607
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,587,533	1,613,063

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、新株予約権の行使に伴う新株の発行により、当第2四半期連結会計期間において資本金及び資本準備金がそれぞれ116,853千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が2,969,436千円、資本準備金が191,233千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント(注)1			調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	再生医療支援 事業	細胞シート 再生医療事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	29,589	—	29,589	—	29,589
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	29,589	—	29,589	—	29,589
セグメント損失(△)	△28,385	△164,305	△192,690	△136,462	△329,152

(注)1 再生医療支援事業は既に製品を販売して売上高を計上しておりますが、細胞シート再生医療事業は現在、事業化準備段階にありますので、売上高計上には至っておりません。

2 セグメント損失の調整額△136,462千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に親会社本社の管理部門に係る費用であります。

3 セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント(注)1			調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	再生医療支援 事業	細胞シート 再生医療事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	28,090	—	28,090	—	28,090
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	28,090	—	28,090	—	28,090
セグメント損失(△)	△46,746	△250,278	△297,024	△153,594	△450,618

(注)1 再生医療支援事業は既に製品を販売して売上高を計上しておりますが、細胞シート再生医療事業は現在、事業化準備段階にありますので、売上高計上には至っておりません。

2 セグメント損失の調整額△153,594千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に親会社本社の管理部門に係る費用であります。

3 セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。